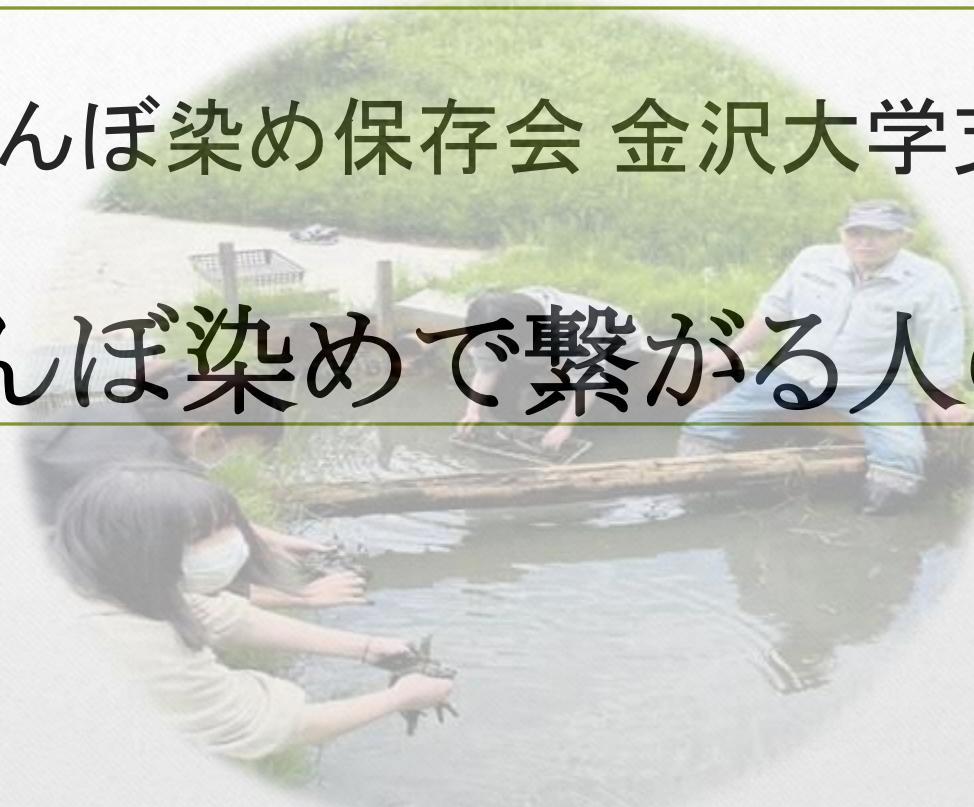


令和7年度 協働のまちづくりチャレンジ事業 成果発表会  
学生部門

釣部田んぼ染め保存会 金沢大学支部『繋』

「田んぼ染めで繋がる人の輪」



## 団体紹介

### 『繫』- 釣部田んぼ染め保存会 金沢大学支部

---



- 人数:11人
- (4年生:4人、3年生:1人  
2年生:6人、1年生:1人)
- 結成:2022年5月～
- 活動場所:金沢市釣部町

# 事業内容

---

①釣部での活動

②繋の活動

③商品開発

# 今年度の活動

4/12, 20, 29, 5/11, 6/16, 22, 7/26, 27

染め体験

6/21

漆採集

8/2

御所二丁目夏祭り

8/3

釣部の夏祭り

8/10

蚤の市8月

9/23

新谷工芸 染体験

9/27-29

龍谷寺染め体験

10/2

夕日寺小学校の授業

10/10

エコデザイン賞授賞式

10/19

夕日寺校下文化祭での踊り

11/1-2

金大祭

11/2

角間の里山まつり

11/9

芋煮会

12/14

蚤の市

1/18

藍染めキット作成(実験)

# ①釣部での活動



染め体験



イベントへの出展



地域行事への参加

+ 田んぼ染め踊り、小学校の体験授業、SNSでの広報など

# ② 繋の活動

## 蚤の市

石川県護国神社で  
毎月開催される神  
社のマルシェ



会場: 石川県護国神社



販売の様子

Q1. あなたの年齢を教えてください

20代 	30代
40代	50代
60代 	70代~ 

Q2. どちらのブックカバーが好みですか?

最初から付いているタイプ 	自分で新しく使うタイプ 
------------------	-----------------

Q3. 今回の商品の値段は  
どう感じましたか?

高い | | → 安い

Q4. どのサイズが欲しいですか?

単行本 	文庫本 	新書 
---------	---------	--------

お客様の  
お声

Q5. 購入の決め手を教えてください

例) ・布や質感が好みだった

- ・デザインが好みだった
- ・色合いがきれいだった
- ・もももブックカバーが欲しかった
- ・思い出の品が欲しかった
- ・使いやすそうだった
- ・価格が手頃だった

田んぼ染めという技法に興味があった

地元や学生を応援したい

地域の伝統を守りたい

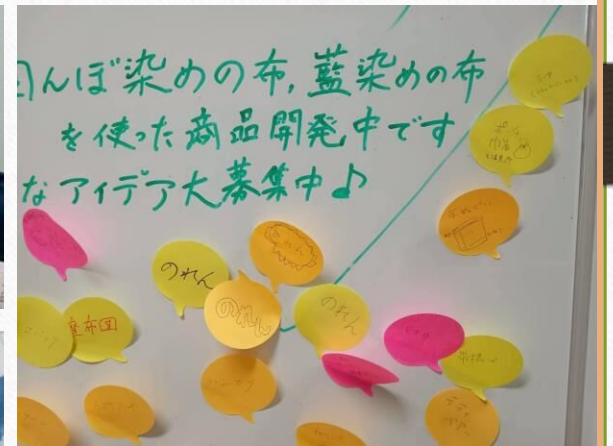
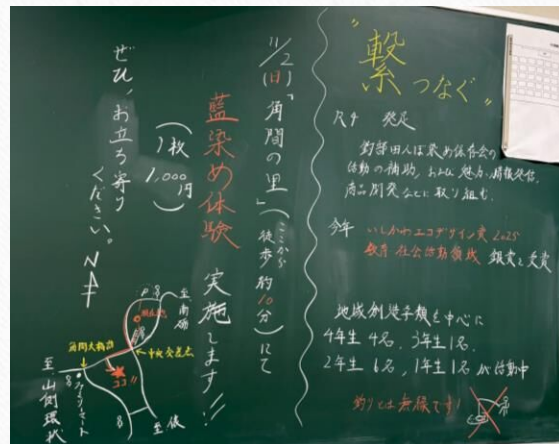
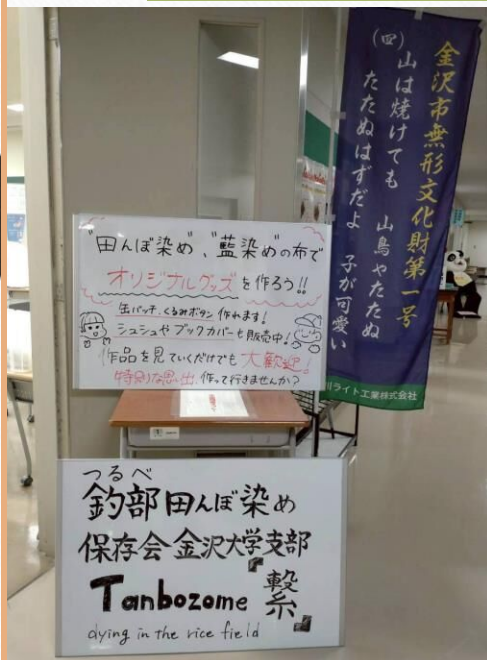
---

ふせんに自由に記述してください。

# ② 繫の活動

## 金大祭

- ・釣部、田んぼ染めに関する展示
- ・缶バッジ・くるみボタンづくり体験
- ・ブックカバー、シュシュの販売

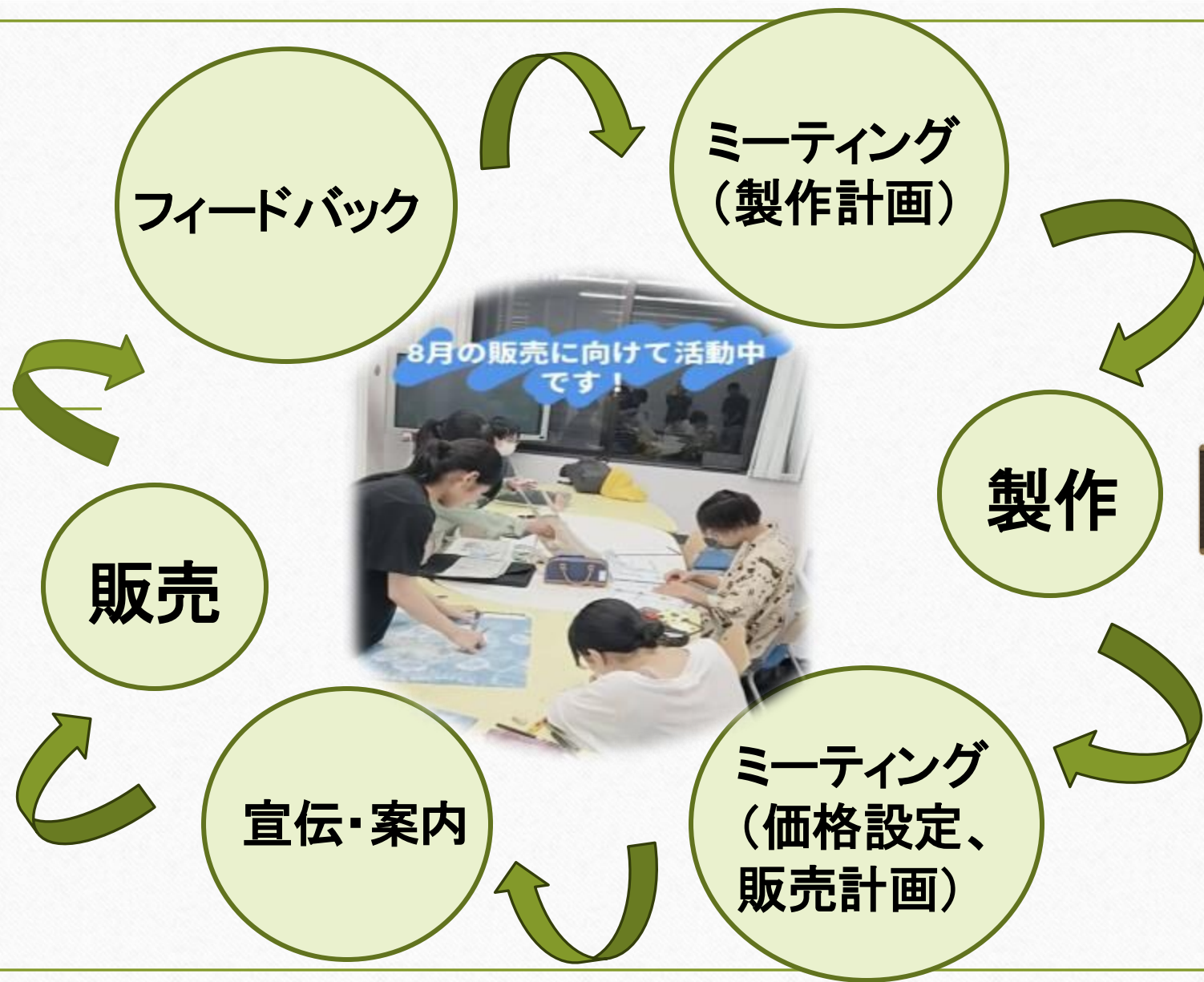


体験の様子と  
お客様からの  
アドバイス

会場の様子

### ③商品開発

1. ブックカバー
2. シュシュ
3. 藍染めキット



# 1. ブックカバー



- ◆布は田んぼ染めと藍染めの二種類
- ◆サイズは単行本サイズ(38×50)と文庫本サイズ(32×37)
- ◆一枚の布を折ってブックカバーの形にできるしくみ
- ◆布の折り方の説明書を同封
- ◆様々なサイズの本に対応可能



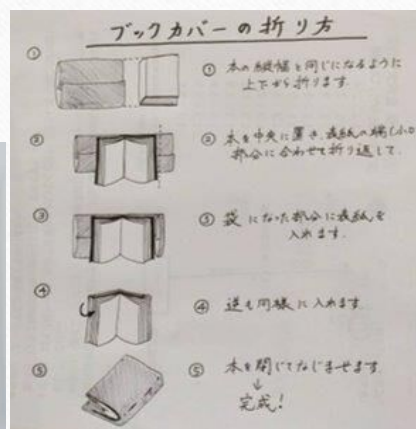
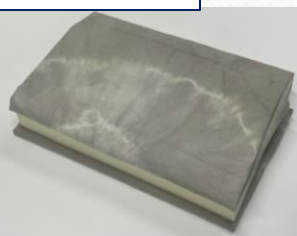
制作の様子



蚤の市での販売の様子



完成品



## 良い点

○素材を生かせる

⇒布面積が広いので、模様を楽しんでもらえる

⇒布の肌触りを楽しんでもらえる

○様々な本のサイズに対応できる

○ブックカバー以外の用途でも使用可能(風呂敷、ランチマット、ハンカチなど)

## 課題

■製作に多くの布と時間が必要

■価格が高くなってしまふ

■縫製の粗が分かりやすい

■1台のミシンでの制作では分業しにくいため、作業効率が低い

## 2. シュシュ



- ◆布は田んぼ染めと藍染めの二種類
- ◆サイズは一般的なシュシュのサイズ(手首より一回り大きいくらい)
- ◆完成品を販売

制作の様子



## 良い点

- 少ない布と時間で製作可能
- 分業での製作が可能
- 価格が手頃
- 縫い目が隠せるので見た目がきれい

完成品



## 課題

- 女性が主な対象である  
⇒対象が限定されている

金大祭での販売の様子



### 3. 藍染めキット

- ◆お客様が自身で藍染めを体験できるキットを作成
- ◆有識者(先生)の教えに従い、泥藍、ハイドロサルファイト、ソーダ灰の配合を実験
- ◆お湯に、泥藍⇒ソーダ灰⇒ハイドロサルファイトの順で入れていく



phの測定



泥藍



ソーダ灰、ハイドロ  
を投入  
染まり具合を観察



# 染め比べ

## 動物繊維

- ウール
- 絹(家蚕)
- 絹(野蚕)



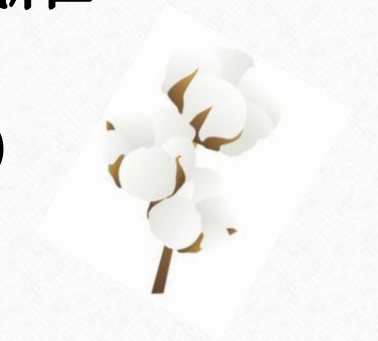
## 混合

- シルクコットン
- シルクウール
- シルクリネン



## 植物繊維

- 麻(リネン)
- 麻(ジュート)
- 麻(ラミー)
- 麻(ヘンプ)
- 綿(綿100%)
- 綿(シーアイランドコットン)
- 綿(オーガニックコットン)



# 今後の展望について

---

- ▶ 釣部町の伝統をより多くの人に知ってもらえるよう、イベントへの参加やワークショップを行う
- ▶ 保存会の方々と協力し、田んぼ染めに込められた想いや歴史を次世代へ伝えていく
- ▶ 商品開発をさらに進め、自主財源を確保すると同時に田んぼ染めを知ってもらう機会を増やす
- ▶ 地域行事に積極的に参加し、学生の立場からまちの活気づくりに貢献する
- ▶ SNSや展示を活用し、活動内容や田んぼ染めの魅力を分かりやすく発信する

ご清聴ありがとうございました。

釣部 田んぼ  
染